

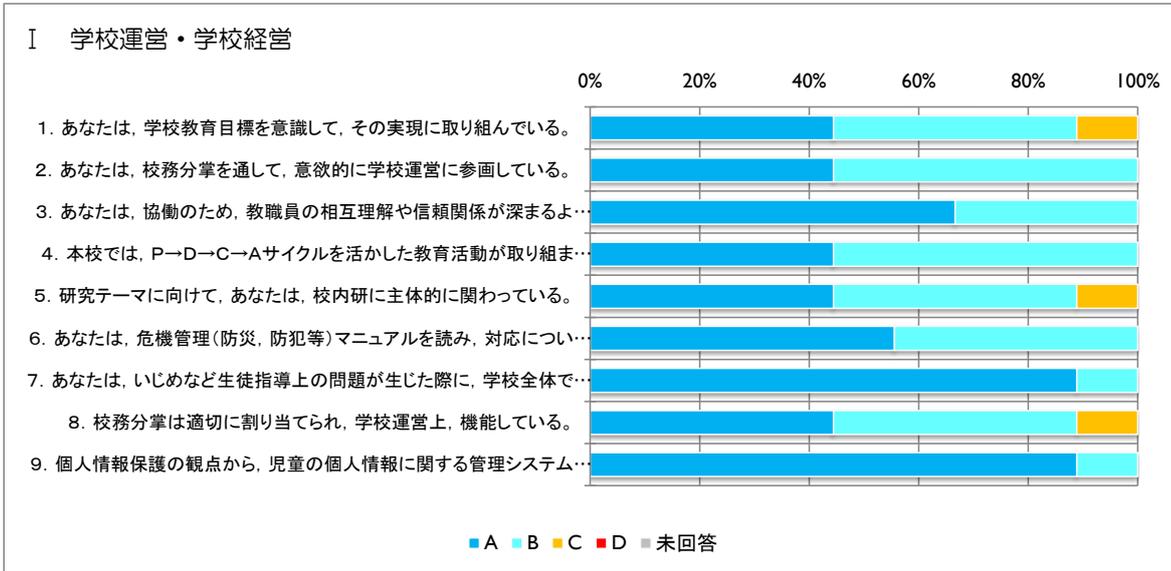
# 令和4年度芦安小学校後期学校評価・教職員自己評価の結果と考察について

評価基準 A：そう思う B：ややそう思う C：ややそう思わない D：そう思わない 9名回答

評価点数 A：4点 B：3点 C：2点 D：1点

## I 学校運営・学校経営

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価	前期
1. あなたは、学校教育目標を意識して、その実現に取り組んでいる。	4	4	1	0	0	3.3	3.4
2. あなたは、校務分掌を通して、意欲的に学校運営に参画している。	4	5	0	0	0	3.4	3.4
3. あなたは、協働のため、教職員の相互理解や信頼関係が深まるよう努めている。	6	3	0	0	0	3.7	3.6
4. 本校では、P→D→C→Aサイクルを活かした教育活動が取り組まれている。	4	5	0	0	0	3.4	3.3
5. 研究テーマに向けて、あなたは、校内研に主体的に関わっている。	4	4	1	0	0	3.3	3.5
6. あなたは、危機管理(防災、防犯等)マニュアルを読み、対応について理解している。	5	4	0	0	0	3.6	3.2
7. あなたは、いじめなど生徒指導上の問題が生じた際に、学校全体で組織的に対応する体制が整備されていると思う。	8	1	0	0	0	3.9	3.8
8. 校務分掌は適切に割り当てられ、学校運営上、機能している。	4	4	1	0	0	3.3	2.9
9. 個人情報保護の観点から、児童の個人情報に関する管理システムが確立している。	8	1	0	0	0	3.9	3.9



### ○自由記述

2 前回同様です。具体案がなく申し訳ないのですが、校務文書が小規模校にあったシステムがあればいいと思う。私自身、食教育や平和・環境教育が最低限度の対応のみになっていて申し訳ないと思っています。

3 小規模校はすぐに話し合えたり、教職員全体で共有できる場が度々あっていいと思います。

8 職員数の関係で、一人一人への負担が大きい課題です。各学年の業務と校務分掌のバランスを考えながら、協力体制をつくっていくことが大切です。

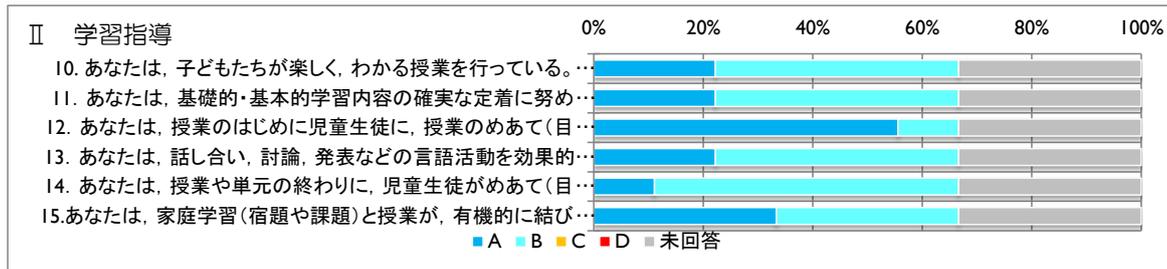
### ○自己評価 (達成状況・改善策)

学校運営・学校経営について

- ほとんどの項目において、前期よりも肯定的な考えが増えてきている。特に、危機管理の面においては、今年度は「不審者対応の訓練」などより具体的に実施していく中で、職員の危機管理意識が向上してきたと考えられる。
- 「校務分掌」についても、現状を鑑みて肯定的な考えになってきているが、今後もそれぞれの負担軽減を図り、より子どもたちとふれあう時間を確保できるよう、職員で工夫していく必要がある。

## II 学習指導

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価	前期
10.あなたは、子どもたちが楽しく、わかる授業を行っている。(児Ⅱ-1・保Ⅱ-11)	2	4	0	0	3	3.3	3.3
11.あなたは、基礎的・基本的学習内容の確実な定着に努めている。(児Ⅱ-7・保Ⅱ-12)	2	4	0	0	3	3.3	3.5
12.あなたは、授業のはじめに児童生徒に、授業のめあて(目標)を示している。	5	1	0	0	3	3.8	3.7
13.あなたは、話し合い、討論、発表などの言語活動を効果的に取り入れた指導を行っている。(児Ⅱ-8・9)	2	4	0	0	3	3.3	3.5
14.あなたは、授業や単元の終わりに、児童生徒がめあて(目標)を達しているか確かめる「振り返り」の過程を設けている。	1	5	0	0	3	3.2	3.2
15.あなたは、家庭学習(宿題や課題)と授業が、有機的に結びつく指導を行っている。(児Ⅱ-10 保Ⅱ-13)	3	3	0	0	3	3.5	3.8



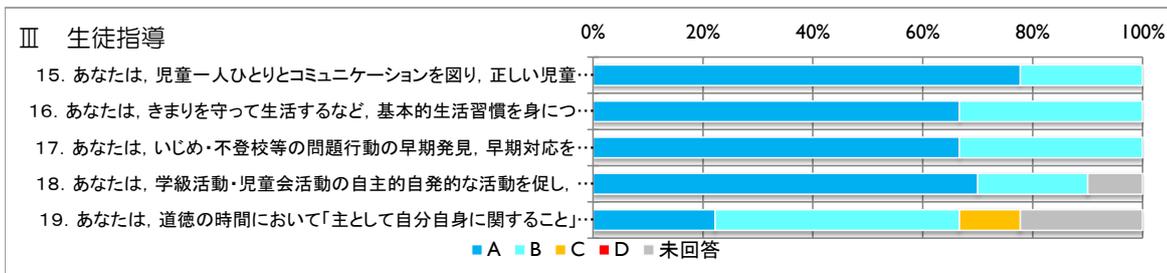
### ○自由記述

### ○自己評価 (達成状況・改善策)

学習指導について  
 前期同様肯定的な評価が多い。授業の最初に「めあて」を提示する等、「山梨スタンダード」を意識した授業改善が進められていることがわかる。14の「振り返り」については、授業を進めていく上で時間配分を考えながら取組む必要が出てくる。授業の最後に学習のまとめをした上で、振り返りの時間を確保できるようにさらに授業改善を図っていく必要があると考える。

## III 生徒指導

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価	前期
15.あなたは、児童一人ひとりとコミュニケーションを図り、正しい児童理解に努めている。	7	2	0	0	0	3.8	3.7
16.あなたは、きまりを守って生活するなど、基本的生活習慣を身につけさせるように努力している。	6	3	0	0	0	3.7	3.7
17.あなたは、いじめ・不登校等の問題行動の早期発見、早期対応を行っている。	6	3	0	0	0	3.7	3.9
18.あなたは、学級活動・児童会活動の自主的自発的な活動を促し、児童の「心の居場所づくり」となる学校、学級づくりに努めている。	7	2	0	0	1	3.8	3.4
19.あなたは、道徳の時間において「主として自分自身に関すること」を重点的に扱っている。	2	4	1	0	2	3.1	3.4



○自由記述

17.今後もSC, SSW, 市の担当者などの関係機関と連携を取りながら対応していきたい。SCのコンサルに管理職が入っていただけることは、大変ありがたい。  
19.道徳の授業を担当していません。

○自己評価 (達成状況・改善策)

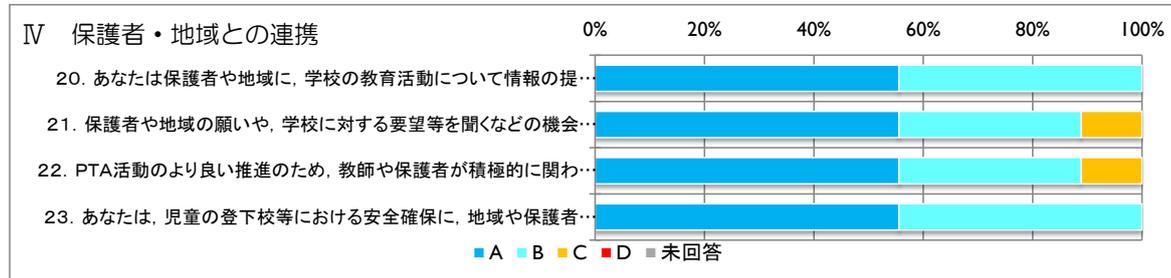
生徒指導について

すべての項目で肯定的評価が多い。特に「17.あなたは、いじめ・不登校等の問題行動の早期発見、早期対応」については、SSWやSCなど専門家との連携をはかりつつ、特別支援コーディネーターや生徒指導主任を中心に問題の早期発見・早期対策を行ってきた。児童の様子を見て気になるところがあったら、全職員で共通理解を図ったり、日ごろから子どもたちの様子について情報交換を行ってきた成果が出ていると考える。

「19.道徳の授業」における「自分自身に関すること」については、前期の評価でも課題となった。発達段階にもよるが、学習する価値項目を常に自分自身の生活に関連付けて考えていけるよう、わかりやすく子どもたちに伝えることが重要になる。

IV 保護者・地域との連携

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価	前期
20. あなたは保護者や地域に、学校の教育活動について情報の提供・公開を行っている。	5	4	0	0	0	3.6	3.6
21. 保護者や地域の願いや、学校に対する要望等を聞くなどの機会や工夫をし、情報の収集に努めている。	5	3	1	0	0	3.4	3.6
22. PTA活動のより良い推進のため、教師や保護者が積極的に関わるよう努めている。	5	3	1	0	0	3.4	3.2
23. あなたは、児童の登下校等における安全確保に、地域や保護者とともに積極的に関わるよう努めている。	5	4	0	0	0	3.6	3.3



○自由記述

23. 教頭先生をはじめ、地域の方が橋に立って子供たちを迎えてくれることに大変感謝しています。

○自己評価 (達成状況・改善策)

保護者・地域との連携について

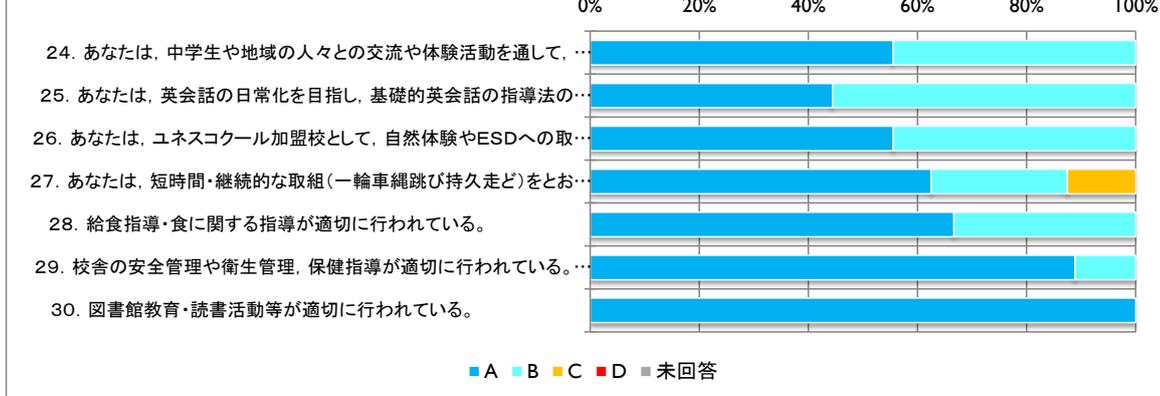
保護者や地域の方々への情報提供は、様々な場面で、様々な方法で行っていくことが大切である。本校では、すべての学年で学年・学級だよりを発行し、日々様子を細かく保護者に伝えているため、その活動が確実な情報発信になっていると考える。今後は、さらにより広く本校の活動を紹介していくため、HPのさらなる活用が必要になると考える。

児童の登下校時の安全確保については、学童まで児童を送り届けるなど、細かい部分まで配慮して活動している。今後も続けていくと同時に、登下校時を含め、通学路等の状況等の情報を正確に把握していくことも重要になる。

## V 学校の特徴ある取組

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価	前期
24. あなたは、中学生や地域の人々との交流や体験活動を通して、子供たちの豊かな人間性をはぐくんでいる。(児Ⅰ-5 保Ⅰ-5)	5	4	0	0	0	3.6	3.4
25. あなたは、英会話の日常化を目指し、基礎的英会話の指導法の工夫とコミュニケーション能力の育成を図っている。	4	5	0	0	0	3.4	3.1
26. あなたは、ユネスコクール加盟校として、自然体験やESDへの取り組みを進めている。	5	4	0	0	0	3.6	3.3
27. あなたは、短時間・継続的な取組(一輪車縄跳び持久走)をとおして基礎体力・運動能力の向上と運動の日常化を図っている。	5	2	1	0	0	3.5	3.1
28. 給食指導・食に関する指導が適切に行われている。	6	3	0	0	0	3.7	3.8
29. 校舎の安全管理や衛生管理、保健指導が適切に行われている。(児Ⅳ-21 保Ⅰ-9)	8	1	0	0	0	3.9	3.9
30. 図書館教育・読書活動等が適切に行われている。	9	0	0	0	0	4.0	4.0

## V 学校の特徴ある取組



## ○自由記述

24.先生方は大変かもしれませんが、児童生徒を考えると、以前のように交流が増えて芦安らしさが戻ったと思います。

26.登山、学校林、アマゴなどここならではの自然体験を継続していけるといいと思います。  
エコパ伊奈が湖や観光推進課など、市の関係機関と連携することで、子ども達の興味関心を高めることができると共に、より効果的な活動を仕組むことができると思います。

27.持久走は時間に限りがあり、大変だと思っている。時期に縛られず細く長く続けてもいいのかと思いました。

28.配膳の際、食器の置き方がバラバラなことが多い。食器の置き方も指導のひとつだと思うが。  
給食センターの影響教諭からの指導資料があって大変ありがたいです。これがなくて各校となると大変なので、最低限として給食指導資料をつかった取り組みを継続していきたいと思います。芦安小独自のものができずに申し訳ないです。

29.毎月、体重測定と一緒に保健指導をしてくれるので児童も意識して取り組んでいます。  
今年は保健指導(月の保健目標指導)に加え、スマイルタイムと共同で保健室でもソーシャルスキルを取り組ませてもらっています。  
指導にかかる時間が例年より増えてしまってますすみません(約20分)貴重な授業時間をありがとうございます。そうはいつでも授業時間ですので、短時間希望があれば要検討します。  
芦小タイムを活用した縦割り清掃等は、子どもたちにも校舎の整備だけでなく気持ちのよい環境で学習することを意識させる意味でも、効果的な取り組みになっていると考える。

30.図書的时间だけでなく、学習に関係のある図書をいつも貸していただいております。  
人数の少ない中で、全校平均200冊越えはすごいと思います。司書の先生を中心に、担任の先生の声かけが結果に表れていると思います。

○自己評価（達成状況・改善策）

学校の特色ある取組について

多くの項目で肯定的な考えが多く出されている。特に4つの項目で、前期を上回る評価になっており、職員の取組の成果が出てきていると考える。給食指導については、コロナの感染状況を見ながら、現在3年生以上が感染対策を取りながら多目的室で一緒に給食を取ることで、共通した給食指導が行うことができていると考える。残菜も少なく、好き嫌いが減ってきているのも、この取組の成果と考える。

図書館教育・読書活動については、司書と学級担任が声を掛け合いながら、学習でも使用できる図書の紹介など、日ごろから工夫していくことで、平均200冊を超える読書量になった。本好きな芦安小の子どもたちになってきているのは、日ごろの取組の成果であり、今後もさらに続けていきたい。

VI その他（自由記述）

・中学校の人数が厳しいと感じます。少人数のメリットもありますが、デメリットもあります。（太鼓もそういったことから小学校に流れてきたかと）あくまで私の理想ですが、将来を見据えていくと、今の分散型の小中一貫校から一体型になってほしいのかなと思います。

・特支CO. をする中で、一人ひとりの様子を見る必要があると感じていますが、なかなかゆくり参観することができていません。今後はもう少し頑張りたいです。

・兼務の中でいろいろ配慮していただき感謝しています。行事など（とくに引率関係）も引き続きバランスよく設定していただけると嬉しいです。